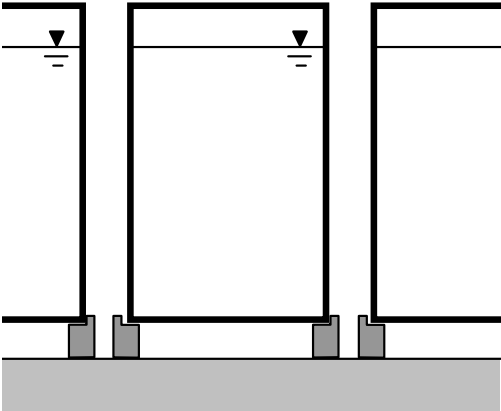
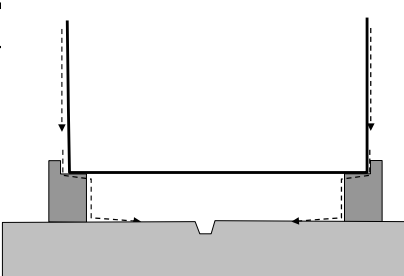
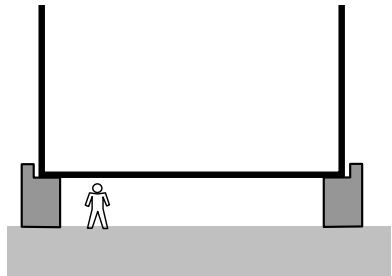
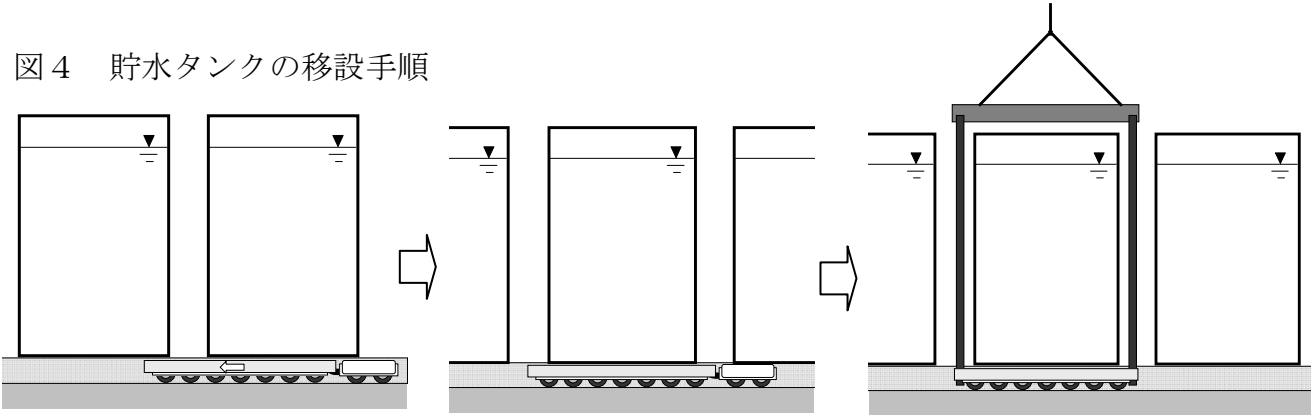


[様式2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

提案書		
技術分野	①汚染水貯蔵	
提案件名	漏水の検知と修復・移設しやすい汚染水貯蔵タンク定置方法	
提案者	石井 卓	
<p>1. 技術等の概要 (特徴、仕様、性能、保有者など)</p> <p>貯蔵タンクからの漏水の可能性をゼロにすることは困難である。基礎底盤に図1の支持構造を設けることにより、図2、図3に示すように日常の漏水点検が容易となり、現地での修復を施すことができる。廃棄物タンクを移設してから修復する必要性が生じた場合には、図4に示す手順で移設することができる。</p>		
図1 タンク定置概念	図2 雨水・漏水の流れ	図3 底部の点検方法
	 1 対の支持台の内側に雨水も漏水も集まるのでサンプルリング監視可能。	 1 対の支持台の内側に監視員が点検入場可能。
<p>図4 貯水タンクの移設手順</p> 		
<p>2. 備考 (以下の点など、可能な範囲で御記入いただけますようお願いいたします)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開発・実用化の状況 (国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む) 実施例はない。基礎底盤コンクリートの設計検討は必要。</li> <li>開発・実用化に向けた課題・留意点 貯水タンクの剛性増強の工夫とコストアップが課題。 基礎底盤の設計 (排水勾配, サンプルリング集水溝の配置) は必要 サンプリング計画 (採取頻度と判断基準の作成) は策定が必要。</li> <li>特許出願中 (未公開)</li> </ul>		